

金泉中学校黄金の一週間の考え方 (R6 0401)

黄金の始業式	
4月	ア 「一年の計は元旦にあり」を学校文化に置き換えると「学校の一年の計は始業式にあり」となります。子どもたちの始業式前後における抱負は最も大切にさせてあげなくてはなりません。
	イ 一人一人に目標を持たせるための具体的活動が大切です。もちろん、学活ノートでの担任とのやり取りでも構いませんし、学活を活用して学級全体で取り組むことも良いでしょう。一人一人が今年度の意気込みを意識することが大切です。
修学旅行前の黄金の一週間	
	ア 修学旅行の取組みは修学旅行実行委員会を中心に活動します。一人一人の出番、役割を仲間とともに承認できるようなムードをつくりながら、承認場面をしっかりとつくるのが大切です。
修学旅行後の黄金の一週間	
	ア 修学旅行後のいわゆる「ダレ」や「気が抜けた状態」、「浮ついた状態」をなくすためにも、修学旅行のまとめとともに、次への目標を決め、具体的な活動項目を自分なりに設計することが大切です。
5月	ア 中学校生活三年間の一番の思い出は「体育大会の・・・」と生徒は言います。みんなで力を合わせることのすばらしさを一番体感できるのが体育大会への取り組みとなります。一人一人の力の大小に関係なく合わせることの大切さ、すばらしさを感じることができるよう学級・学年ごとの取り組みと、一人一人の出番・役割を承認することの大切さを学びます。
	ア 「ダレ」や「気が抜けた状態」、「浮ついた状態」は一年の中でも体育大会後が一番と言ってよいでしょう。次への目標を決め、具体的な活動項目を自分なりに設計することができるよう学級全体で意識するように学級経営します。
前期中間テスト前黄金の一週間	
6月	ア 黄金の始業式では必ず生徒は「勉強がんばろう！」と誓っています。その気持ちを具体的に表すことができるのが定期テストです。事前の学習計画や教科における取組み、また、質問タイムなどを有効活用し、生徒一人一人の意識を高めます。
	ア 前期中間テストが終わり、学習に対する意欲が低下するのでは意味がありません。テスト後の学習計画や、間違っただ所の訂正などを学級、学年が足並みをそろえて、また教科からのアプローチで前期中間テスト前黄金の一週間を持続させます。
中体連夏季大会、コンクール前の黄金の一週間	
	ア 三年生にとっては、ほとんどの人が最後の大会であり大会の終了とともに引退が待ち受けています。「自分たちの力を100%出し切った。」という思いで中体連やコンクールを終えることができるよう、顧問は、率先して部活動に行き、生徒とともに活動をします。緊急の仕事以外で職員室にいないようにしましょう。生徒とともに「自分のやってきたことを信じる」「大切にやってきた道具を信じる」「見えない力を信じる」ことができるように生徒を引っ張ります。
7月	ア 三年生はいよいよ受験生としての夏休みを迎えます。三年生スタッフと部活動顧問が一人一人に対する理解を深めながら受験生としての意識を持たせるとともに、学校づくり（開発的生徒指導）において12月までは行事場面での活躍がまだまだ期待されていることを自覚させることが大切です。
	ア リズムある夏休みの生活をさせるための生活設計を立てさせたり、教育相談を行ったりしながら意識を高めます。

金泉中学校黄金の一週間の考え方 (R6 0401)

8 ~ 9 月	二学期はじめの黄金の一週間	
	ア	黄金の始業式に同じように、「今度こそは！」や「今度はもっと！」の気持ちを高めさせるようにします。夏期休業中の学年登校日と二学期始業式の日を大切にします。
	イ	始業式の翌日より前期期末テストがあります。夏期休業中の努力の成果を出し切ることで、点数アップが見込めるでしょう。努力すること、最後までやり切るこの大切さを学ばせましょう。
10月	中体連新人戦前の黄金の一週間	
	ア	新チーム発足はじめての中体連。暑くきつい夏休みの練習を超えてはじめて自分たちがやってきた練習の真価が問われる大会です。忙しい二学期の中盤ですが、顧問は真っ先に部活に出て生徒ともに熱い練習をしながら新人戦に臨みます。また、新人戦後の黄金の一週間も意識させることが大切です。
	文化発表会前の黄金の一週間	
	ア	三大学校行事のうちの一つである文化発表会。生徒には一人一人に出番と役割が設定されます。しかし、ややもするとその出番や役割を見逃してしまう恐れがあります。また、仲間の出番と比較して自己の出番に価値を見出さない生徒がいたりします。無論、教師がそのような意識を持っていたのはいけません。承認場面をしっかりと意識して設定し生徒一人一人の伸びを確かなものにします。
11月	生徒会長選挙前の黄金の一週間	
	ア	生徒会立合い演説会が行われます。「学校づくりは生徒会」という意識を持たせ、生徒会活動を活発化することが大切です。一人一人が生徒会会員という意識を持たせ、みんなでつくる学校という目標のもと、立会演説会に臨ませることが求められます。
	後期中間テスト前の黄金の一週間 (三年生は学年末テスト)	
	ア	生徒会長選挙の翌週が中間テストです。特に二年生は忙しい時期ではありますが、早めに学習面の意識を高めることが求められます。
	後期中間テスト後の黄金の一週間	
	ア	中間テストが終わり、学習に対する意欲が低下するのでは意味がありません。テスト後の学習計画や、間違った箇所の訂正などを学級、学年が足並みをそろえて、また教科からのアプローチで中間テスト前黄金の一週間を持続させます。
12月	二学期終業式前の黄金の一週間	
	ア	一、二年生は上級学年への意識を高めるための三学期を迎えます。また、三年生は自己の進路実現に向けた大切な日々を過ごす三学期です。これまでの生活面、学習面の反省を生かして、三学期への意識付けをすることができるような学級学年の取組みが大切です。
三 学 期	三学期はじめの黄金の一週間	
	ア	二学期終業式前の黄金の一週間で再度振り返り新たな意識を持たせます。
	学年末テスト前の黄金の一週間	
	ア	長い後期中で中間テストを挽回するという気持ちや、中間テストよりも良い成績を収めるといった気持ちを持つことができるようにすることが大切です。そのためには、授業への臨み方や家庭学習の大切さ、特に各教科ごとの取り組み方を具体的に示すことが求められます。
	学年末テスト後の黄金の一週間	
	ア	学年末テストが終わり、学習に対する意欲が低下するのでは意味がありません。テスト後の学習計画や、間違った箇所の訂正などを学級、学年が足並みをそろえて、また教科からのアプローチで学年末テスト前黄金の一週間を持続させます。
	卒業式前の黄金の一週間	
	ア	「三年生が安心して卒業できるように一、二年生はがんばろう」や「下級生に伝統として残していけることは最後まで気を抜かず学校生活を送ること」という三年生の意識付けをすることが大切です。